

災害に備えて 市総合防災訓練

●問い合わせ先
交通防災課(合志庁舎)
☎248-1555



10月28日、市民の防災意識向上と、災害発生時の関係機関との連携強化のため、市内各地で総合防災訓練を行いました。

合志市を震源とする大規模地震の発生を想定し、市民が命を守る1分間行動(シェイクアウト)のあと、3,727人が各行政区の1次避難所への避難訓練を行いました。

また、こしは菊池医療刑務支所跡地と南ヶ丘小学校で各種訓練を実施。菊池医療刑務支所跡地では行方不明者が発生した想定で、警察、消防、自衛隊、市消防団、九州災害救助犬協会による捜索・救助活動と消火訓練を行いました。

南ヶ丘小学校では熊本大学の北園芳人名誉教授による講話を開催。区長や市防災士、市職員など約200人が避難所開設・運営などを学びました。社会福祉協議会による災害ボランティアの受け入れを訓練しました。

自衛隊、黒石原自治会女性部と市食生活改善推進員による炊き出し訓練では、カレーライスを振る舞いました。訓練を通して、参加者はそれぞれの立場で防災や災害に関する知識を深めました。

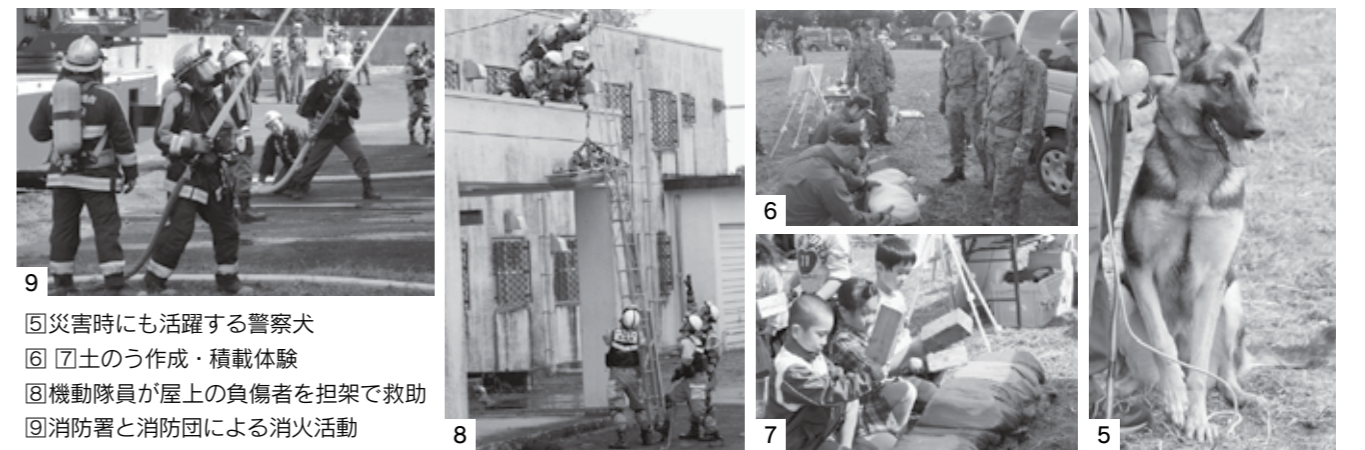
煙体験、土のう作成やはしご車搭乗体験なども行ない約300人が参加しました。

南ヶ丘小学校では熊本大学の北園芳人名誉教授による講話を開催。区長や市防災士、市職員など約200人が避難所開設・運営などを学びました。社会福祉協議会による災害ボランティアの受け入れを訓練しました。

自衛隊、黒石原自治会女性部と市食生活改善推進員による炊き出し訓練では、カレーライスを振る舞いました。訓練を通して、参加者はそれぞれの立場で防災や災害に関する知識を深めました。



1 はしご車での救出活動
2 各区代表者の避難所運営訓練
3 炊き出し訓練
4 消火器の使い方を消防団員が指導



5 災害時にも活躍する警察犬
6 土のう作成・積載体験
7 機動隊員が屋上の負傷者を担架で救助
8 消防署と消防団による消火活動

地域の防災力向上へ 地域防災組織連携連絡会

9月29日、合志庁舎で各地区代表者と防災士約150人を対象に地域防災組織連携連絡会を開催しました。同会の目的は防災士連絡協議会と各地区の自主防災組織との連携。当日は有浦隆県危機管理防災企画監から「防災スペシャリストになる!」と題し講話があり、参加者は熱心に耳を傾けました。今後は各地区で防災訓練などを行ない、防災意識向上へとつなげます。



もう1度チェック 家庭での災害への備え

もしものときのため、家庭でも避難所の確認や危険箇所の把握、安否確認の方法を決めるなど備えておくことが大切です。備蓄品もそろえておきましょう。

●備蓄品 チェックリスト(最低3日×人数分)

- お米
- 簡易トイレ
- (レトルトやアルファ米)
- ウエットティッシュ、トイレットペーパー
- 紙皿、紙コップ、割りばし
- 水不要のシャンプー
- インスタント食品
- カセットコンロ
- 飲料水
- ビニール袋、工具

素敵な人生 素敵なパートナー



西合志第一小学校
村田 典子

「女性の校長先生なんです」と声を掛けられることがよくある。面はゆいような何とも複雑な気持ちでその言葉を受け止めつつ「今は増えましたもんね」と答える。

女性管理職の登用率がよく話題になるが、「都道府県別全国女性の参画マップ」(内閣府男女共同参画局)なるものを、恥ずかしなからこし初めて目にした。さまざまな役職などに占める女性の割合が都道府県別に示されており、女性の参画の状況が細やかに把握されていることを知った。

このような行政のハード面の整備と言え、男女共同参画に関する法律は「男女共同参画社会基本法」をはじめ、「男女雇用機会均等法」「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」そして

ことし5月23日に公布・施行された「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」など、さまざまなある。これらの法整備なくして男女共同参画社会の実現は難しいということであろう。

学校では女子の生徒・児童会長、体育大会・運動会の女子の団長など、女子のリーダーシップは大いに発揮され、学校生活全般でも、もちろん性差ゆえの配慮が必要な場面はあるが、男女の固定的な役割分担意識などはない。対等の関係、公平な学びと活躍の場がある。この子どもたちの将来に思いをはせるとき、巣立ちゆく社会には同様のそれが保障されていることを願う。

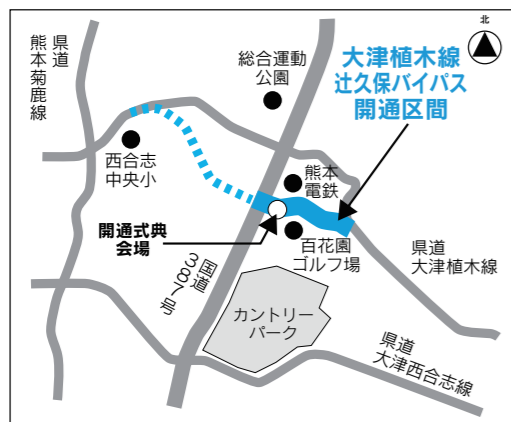
本市もそうであるが、各自治体の男女共同参画推進行動計画には、意識改革、意識づくりなどの言葉が並ぶ。やはり「意識」が課題の第一目一番地。強い信念と感性を持ち、自分ができること、すべきことを重ねながら、目の前の子どもたちが生きやすい社会を整えていく力になりたい。

12月23日から通行開始

県道大津植木線辻久保バイパスの一部区間が開通します

県道大津植木線辻久保バイパス(栄～合生約1.2km)が12月23日(日)午後1時から一般通行を開始します。なお、午前10時から開通式典を開催します。

●開通場所



●問い合わせ先

県北広域本部 土木部工務課
☎0968-25-2166
建設課 維持管理班(合志庁舎)
☎248-2345

自主返納を考えている人へ

自動車運転免許を自主返納した人への支援制度

運転免許は警察署や運転免許センターで自主返納できます。自主返納した人には支援制度があります。

●免許返納者割引乗車証

対象のバスや電車の利用時に提示すると、普通旅客運賃の半額(10円未満切り上げ)で乗車できます。

- 対象 県内在住の65歳以上で免許自主返納した人
- 受付窓口 熊本電気鉄道・九州産交バス・熊本バス・熊本都市バス・熊本市交通局・産交バス

- 必要なもの 申請による運転免許の取り消し通知書か運転経歴証明書、証明写真

●運転経歴証明書

本人の意思で運転免許の自主返納をした日から過去5年間の運転経歴について証明します。各支援制度を利用する際に必要な場合があります。

- 対象 免許自主返納後5年以内の人
- 受付窓口 運転免許センター、警察署
- 必要なもの 申請による運転免許の取り消し通知書、印鑑、証明写真、手数料1,100円

この他にも、眼鏡や補聴器の購入費などが割引になる場合があります。詳しくはお尋ねください。

●問い合わせ先

交通防災課(合志庁舎) ☎248-1555